

わたしたちは、信頼と希望と愛の輪で社会をつなぎます



SSKP

いずみ

No.

163

2011年12月

* 社会福祉法人 泉会 *

法人本部
泉の家〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番23号
☎03(3417)3451(代) ☎03(3417)3463
izumi@izumikai.jp
http://izumikai.jp/izumi/日の出舎
就労日の出舎〒190-0182 西多摩郡日の出町平井3030番
☎042(597)1451(代) ☎042(597)2205
info@hinodesha.org
http://hinodesha.org/グループホーム
いずみ〒197-0825 あきる野市雨間322-12
☎☎042(550)9083
bwz12948@nifty.com岡本福祉
作業ホーム〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番24号
☎03(3415)3366(代) ☎03(3415)4976
okamoto@izumikai.jp
http://izumikai.jp/okamoto/岡本ホーム
玉堤分場〒158-0087 世田谷区玉堤2丁目3番1号
☎03(5707)9431(代) ☎03(5707)9433
tamatatumi@izumikai.jp
http://izumikai.jp/tamatutumi/一九七七年十二月三日第三種郵便物認可(毎月二、三、五、六、七の日十八回発行)
二〇一一年十一月十三日発行 (SSKP 通巻四九〇三号)

ボランティアさんと利用者でパン作りに挑戦しました(泉の家)

2011年度 いずみ会報聖句
『あなたの体のともし火は目である。目が澄んでいれば、あなたの全身が明るい、濁っていれば、体も暗い。
だから、あなたの中にある光が消えていないか調べなさい。
あなたの全身が明るく、少しも暗いところがなければ、ちよと、ともし火がその輝きであなたを照らすときのように、全身は輝いている』
(ルカによる福音書11章34-36節)

はるか彼方を

理事長 橋向敏治



多くの災難に遭遇した一年でした。
東北大地震、福島原発の放射能漏れ、台風による甚大な被害、ギリシャに始まる世界経済不安など経験したことのない事態に苦悩しています。

この混乱の中にありながら私ども泉会の施設『日の出舎』の建設が、幾多の困難を克服して順調に進められています。利用者の待望する3階建個室の入所施設が完成しました。これも皆様の温かいご支援のお陰と存じ、感謝申し上げます。

利用者へ真の心のかよった支援を願って歩むことが出来るように、一同念願しております。

東北の福祉施設の悩み、利用者がせっかく作った商品を販売することが出来ないとのこと。私どもの4施設では東北の施設が作った商品(クッキーなど)を販売し、売り上げを工賃として東北の利用者に喜んでもらうべく、ささやかな協力を継続しております。

目の前の問題に正面から取り組もうとしないのは、問題の深刻さを見る力を失っているからではなく、むしろ逆に遠くのもの、はるか彼方を見る力が弱っているためではないでしょうか。時代を超えて受け継がれる夢や理想のようなものを見る力が大切だと思います。眼の前にあることを一つずつ誠実に自己の良心と信念に基づき、やり抜いて行く姿勢、常に心を新たにされて、それを抱いて生きていることが出来れば幸いです。

今後とも皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

文化活動の取り組み

泉会の各施設においても、音楽活動を中心とした、様々な文化活動を行っています。

10月1日に実施されたチャリティーコンサートや来年実施予定のコンサートも、こうした各施設の文化活動を通して、泉会を支援してくださる皆様方のご理解があつて、初めて実現できるものと考えております。

泉の家

クリスマスに向け練習中

生活介護では、毎週水曜日に音楽活動をボランティアさんと一緒にこなしています。毎回の活動と比べても二位二位を争うほどの盛り上がりを見せてくれます。

日々、音楽が持つ大きな力を職員は感じています。毎月プログラムの変更を行なっていますが、生活介護は年齢層が幅広く選曲に頭を悩ませます。



ボランティアさんのピアノで歌っています

職員同士で相談し、時に利用者の方々の意見を反映させ、みんながより一層楽しめるような曲選びを心がけています。

約1年前から、ハンドベル「ドレミの歌」の練習を続けてきていますが、今では職員の指示が無くてもそれぞれの担当の音階をほぼ間違えずに上手く奏でる事ができるようになりました。最近では、クリスマスに向け「まき人羊を」の練習に力を入れています。クリスマスが楽しみです！

毎週ボランティアでピアノ伴奏をし

てくださる方、一緒に盛り上げてくださる方がいることに感謝しながら、これからも充実した音楽活動を続けていきたいです。

（小林 由美）

日の出舎

ボランティアさんとコーラス

毎月1回ボランティアさんのご協力のもと、クラブ活動の一つとしてコーラス



コーラスクラブの活動風景

を行つています。歌を歌うことが好きな利用者の方が集まり、ピアノの伴奏と共に歌謡曲などをみんなで歌っています。歌の他にボランティアさんと歌の話をしたり、その他の話をしたりして楽しんでいます。この月1回のクラブ活動の時は、日の出舎から歌声が響き渡っています。

日々の練習の成果を披露出来る場として、年1回近隣の学校でコンサートがあり、そちらのコンサートに毎年参加しています。コンサートが近付くと練習の数が増えたり、衣装を合わせ準備を行ったりして、気持ち的にも少しずつ高まります。コンサート当日は、クラブボランティアさんや主催者の方のご協力を頂きながら、毎年気持ちよく参加をさせてもらっています。

新しい建物になつても日の出舎から歌声が響き渡り、年1回のコンサートへの参加もするかと思いますので、ぜひ歌声を聴きにきて下さい。また、知っている曲でしたら一緒に歌いましょう。

（背戸 幸恵）



岡本ホーム

手作り楽器を作りました

岡本ホームの生活介護では、水曜日は選択コースの日ということで、グループを3つに分けて活動しています。演劇グループ、音楽グループ、新聞グループです。今回は芸術？の秋、という事で音楽グループの紹介をします。

音楽グループでは、歌を歌うことを中心に日々活動しています。12月に行われる年納め会での発表を目指し練習



“つながれた右手が～♪”の振りつけ

習しています。披露する曲の中の一つ「風になりたい」では、楽器（自分たちで製作）を演奏しながら歌います。手作りの太鼓やマカスの音色はみんなの気持ちを一つにしてくれる効果があるようです。

他には、切手のないおくり物、ありがとうを歌う予定。、ありがとうではサビの部分でオリジナルの振り付けを披露する為、一生懸命練習しています。なかなか難しく大変ですが頑張つて練習しています。また、季節への関心や興味を忘れないよう「季節の曲を歌う」といった試みも行っています。先日も秋を題材にした「小さい秋みつけた」「もみじ」などみんなで歌いました。歌を歌うことは声に力がつき、人から興味をひかれるようになりますとか、心が豊かになり表情や感性が磨かれるといった効能もあり、それらを日々感じつつ、みんな元気に楽しく活動しています。

（田村 義宣）



玉堤分場

歌っている時の一体感

玉堤分場では、朝のミーティングに全員で歌を歌っています。発端は数年前の地域交流行事「地域と共に」で、来場された皆さんやお手伝い下さった方達と一緒に何かできないかという事でした。

それまでも施設内でカラオケしたり、お店に出かけたりしていましたが、全員がマイクを持って歌うわけではあ



皆で熱唱！

りませんでした。ですが、注意して見ていると、マイクを持たなくとも口ずさんでいる方は多く、加えてテレビで放映された失語症の合唱団活動での生き生きとした表情に「みんなで歌えばいいんじゃないか」と考えたわけです。

CDショップに出かけて、利用者の方の青春ソングを一緒に選び（店内で歌いながら）合唱で交流のあった小学校の音楽の先生に、キーの高さやテンポを調整していただき、伴奏CDを作ってくださいました。これを毎朝順番に流し歌っています。一番人気は「思い出の渚」よく歌うのは「上を向いて歩こう」「見上げてごらん夜の星を」「亜麻色の髪の乙女」「この広い野原いっぱい」です。

失語症のある利用者も毎朝歌っている曲は、泊旅行の宴会でも歌います。マイクを持ってステージに立ち、手拍子を受けてとても楽しそうに歌われるので、見ている方も嬉しくなり大きな拍手を送っています。

みんなで歌っている時の一体感はとても心地良いものです。そろそろ新しい曲もと考えています。

（上原 絹代）



みんなのリクエスト

生活介護では、毎月1回調理実習を行なっています。

毎月「今月は何を作る？」と盛り上がりがあります。泉の家のみんなは、歌うこと、話すこと、食えることが大好きです。

自分達でつくることも忘れて、難しいメニューのアイデアがどんどん出てきます。

モンブラン・アップルパイ・ロールケーキ・ドーナツ・ラーメン・鍋焼肉・お寿司…



アイスクリーム作成中

作り方は、インターネットを使って簡単にうまく出来る方法を沢山検索することが出来ます。

調理方法も電子レンジでできる蒸し器のルキューを使ってみたりと簡単に安全に行なえるようになりました。

おかげで、みんなのリクエスト(?)に近くて失敗せず？に調理することが出来るようになりました。

今年の夏は、暑い日も続き節電の意味も込めてアイスクリームを作りました。

今年のクリスマスには、大作を作りたいとみんなで意気込んでいます。

失敗しても、成功しても、皆で作って食べると美味しく感じる事ができます。

(本田 羽留香)



電動ミキサーで“余裕”♪



「長沢イネ子さんの1日」

通所利用者の長沢イネ子さんに1日の生活の様子を伺いました。

毎朝5:30に起床。起床後は、掃除をしたり、ゴミを出したり、朝から元気に活動し、朝ご飯をしっかりと食べて出発です。送迎車が来るまで近所の方と話しをしたり、近所付き合ひも大切にされている様子。日の出舎に到着してから、利用者職員としつかりあいさつをする心を掛けているとのこと。あいさつを返してくれることが嬉しいこと



週2回施設のトイレ清掃を行っています

のようです。午前中は、トイレ掃除を行います。掃除が大好きな長沢さんにとって、一番やりがいのあるお仕事です。トイレ掃除のこと。昼食をしっかりと食べてからの午後の作業は、木工作業。作業中は集中して取り組み、休憩時間は他の利用者や交流。作業が終了したら、送迎車で帰宅し、買い物に出かけます。近くのスーパーで1週間分をまとめ買い。帰宅後は、お風呂の掃除と夕食の準備をして、18:30にテレビを見ながら、ゆっくり食事を食べているようです。その後は、入浴で1日の疲れを取ってから眠りにつくとのこと。「身体を動かすことが元気の源です。」と笑顔で答えてくれた長沢さん。最後に「体が丈夫なうちは日の出舎に通い続けたい」と話されました。

(麦島 汐音)



清掃終了後のピースサイン



秋の外出シーズンを満喫

岡本ホームの外出クラブを紹介します。岡本ホームの利用者は外出が大好き。そこで年に1回は好きな所に外出できるように外出クラブを設けています。9月には岡本地区区会館で調理実習。10月は電車でお出かけクラブを実施しました。調理実習は秋らしくサツマイモご飯とトン汁、卵焼き、プリンを作りました。トン汁担当の吉野さん、森田さんは包丁さばきが素晴らしく、お手伝いいただいたボランティアさんから称



上手にひっくり返せるかな…?

賛の雨あられ。初めて岡本の調理実習に参加した毛利さんは「自身が皮をむいたさつまいもを食事中猛烈アピール、みんなの笑顔を誘っていました。」

電車でお出かけクラブはメンバーがみんな電車好き。行先もそんなメンバーらしく宮崎台駅にある「電車とバスの博物館」。二子玉川駅から電車に乗って出かけた。電車の運転席に座って車掌気分を味わったり、東急線の歴史ビデオを観たりして楽しめました。電車好きにはたまらないスポットだったようです。

今後の外出クラブは紅葉狩りクラブ、スポーツクラブなどを予定。みなさん自分の外出日が早く来ないかなと首を長くして待っている今日この頃です。

(河村 律子)



電車とバスの博物館でホッと一息…



クッキー作業の細分化

玉堤分場の主な作業としてクッキー作業があります。このクッキー作業、準備からラッピングするまでとても多くの作業工程があります。少しでも多くの利用者に関わってもらおうと、作業工程を見直し、今まで職員が行っていた工程を利用者が担えるようにしてきました。具体的には、卵塗りやチョコチップ付け、生地のはし、クッキーの袋詰め等の工程です。

障がい特性により、二つ以上の動作や注意点の確認を同時進行することが難しいため、一工程をいきなり全て行なうのではなく、更に細分化し、一つずつ確実に進め、徐々にステップアップしていくことで確実に工程を担えるようにしていきます。

例えば袋詰めですが、細分化すると、①計量されたクッキーが計量皿の上にある表になる。②袋を掴み、口を空け

る。③計量皿を持って袋にクッキーを入れる。④入れた後に袋の表とクッキーの表が一致しているかを確認。⑤クッキーの割れがないか確認。⑥クッキーの一番裏に乾燥材を入れる。⑦次の工程の人に渡す。というように「袋詰め」という1工程でも、7工程に細分化することが出来ます。この工程の得意なところから始め、最終的には全て出来るようになってきています。

(伊達 紫瑞)



袋詰めもバッチリ!

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可（毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行）
二〇一一年十一月十三日発行（SSK P 通巻四九〇三号）



玉堤分場

杉田武夫さん

玉堤分場を利用して約13年になる杉田武夫さんにお話を伺いました。

杉田さんは、病前から仕事上の付き合いもあり、お酒を良く飲まれていました。身体の事を心配している奥様と玉堤分場で協力してお酒の量を減らすように働きかけてきました。しかし、なかなかお酒の量は減らず、疲れやすくなっていました。このままでは良くない！と奥様が意を決して昨年の秋にアルコールを断つために入院することになりました。

今回は、退院してお酒を断つことができたことについて聞いてみました。

Q1「お酒をやめてから、身体の調子はどうですか？」



毎日クッキー作りも出来るようになりました

A1「ちようひはいいよ。」

Q2「入院期間はどんなことをしていたのですか？」

「ずっと寝ていたんですか？」

A2「ずっと寝てはいない。お話ししていたよ。」

Q3「先生とか患者さんと？」

A3「うん。うん。」

Q4「アルコールは身体に良くないとかのお話ですか？」

A4「うん。うん。」

Q5「お酒をやめて良かったと思いますか？」

A5「おーもーいーますー！」

Q6「最後に支えてくれた奥様に一言

どうぞ。」

A6「ありがとうございます。よろしくな。」



体も心も軽くなりました

※杉田さんは高次脳機能障害の後遺症で、失語症（言葉がうまく出てこない症状）があります。

インタビュアーでは、職員が紙に書いた文や単語を見てもらって答えてもらったり、予想される言葉を伝えて相槌を打ってもらいながら作成しました。

今回は敢えてご本人のそのままの言葉で記載させて頂いています。

（伊達 紫瑞）

発行所 障害者団体定期刊行物協会 領価五十円
東京都世田谷区砧六の二六の二一
編集人 社会福祉法人 泉会

製品紹介

岡本ホーム

年賀状印刷承ります！

利用者が描いた千支の絵と書道合わせたオリジナル年賀状印刷のご注文を承っています。印刷枚数は1枚からお受けいたします。ご住所、お名前等の名入れ印刷もできます。大切な人への新年の挨拶を岡本ホームの年賀状で送ってみませんか？



印刷料金

1枚：60円

*はがきご注文時にお持込みください

行事のお知らせ

●「岡本ホーム作品展」シェイクハンズ」
開催期間 2012年2月21日（火）より
2月23日（木）まで

場所 三軒茶屋キャロットタワー4階

●「岡本ホーム陶芸市」

開催期間 2012年1月22日（日）
10:00～15:00

場所 岡本福祉作業ホーム

お問い合わせ先

岡本福祉作業ホーム

電話 03-3415-3366

FAX 03-3415-4976

e-mail: okamoto@izumikai.jp